



安全のために必ずお守りください。

警告

“メンテナンスの頻度は、ライディングの状況により異なります。チェーンを適切なチェーンクリーナーで定期的に洗浄してください。錆び落とし等のアルカリ性、あるいは酸性の洗浄液は決して使用しないでください。これらを使用するとチェーンが破損し、重傷を負う恐れがあります。”

- ナロータイプチェーンは必ずアンブルタイプ・コネクティングピンで連結してください。
- 2種類のアンブルタイプ・コネクティングピンが有りますので、ご使用前に必ず下記の表でご確認ください。アンブルタイプ・コネクティングピン以外のコネクティングピンやチェーンに適合していないアンブルタイプ・コネクティングピンおよび工具を使用されますと十分な連結力が得られずチェーン切れやチェーン飛びを起こす場合があります。

チェーン	アンブルタイプ コネクティングピン	工具
CN-7701 / CN-HG93 の様な9段対応 スーパーナローチェーン	 6.5mm シルバー	TL-CN32 / TL-CN27
CN-HG50 / CN-HG40 の様な8、7、6段対応 ナローチェーン	 7.1mm ブラック	TL-CN32 / TL-CN27

- スプロケット構成の変更などでチェーンの長さを再調整する必要がある場合は、アンブルタイプ・コネクティングピンおよびエンドピンで連結されていない箇所を切断してください。アンブルタイプ・コネクティングピンやエンドピンで連結された箇所を切るとチェーンを損傷します。
- チェーンの伸び具合や損傷がないかどうか点検してください。伸びたり損傷が有った場合には交換してください。チェーンが切れて転倒することがあります。
- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。またボルトやナット等が緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

- UGチェーンにはアンブルタイプ・コネクティングピンは使用になれません。連結部の動きが悪く、又きしみ音が発生します。
- 変速操作がスムーズに出来なくなった場合には変速機を洗浄し可動部に注油してください。
- リンク部のガタが大きくなって変速調整が出来なくなった場合には変速機を交換してください。
- 定期的に変速機を洗浄し可動部（メカニズム部及びプーリー部）に注油してください。
- 変速調整が出来ない場合には車体の後ろエンドの平行度の確認およびケーブルのグリスアップとアウターケーブルが長すぎたり短かすぎたりしていないかを確認してください。
- プーリーのガタが大きくなって、走行時、非常に雑音がうるさくなった場合は、プーリーを交換してください。
- インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分がグリス潤滑された状態で使用してください。
- インナーケーブル内蔵フレームは、ワイヤー効率が悪くSISが動きにくいいため、ご使用できません。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

ご使用方法

RD-TZ31

リアディレイラー

SI-5FZ0A-001

機能を十分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

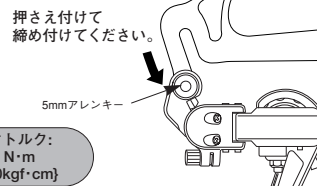
シリーズ	Tourney (SIS)	
	7段	6段
スピード		
シフティングレバー (右)	SL-RS36-7R / SL-RS35-7R	SL-RS36-6R / SL-RS35-6R
アウターケーブル	OT-SIS40	OT-SIS40
リアディレイラー	RD-TZ31	RD-TZ31
フリーホイール	MF-HG37 / MF-TZ21 / MF-TZ21-CP / CS-HG20-7	MF-TZ20 / MF-TZ20-CP
チェーン	CN-UG51 / CN-HG40	CN-UG51 / CN-HG40
ケーブルガイド	SM-SP18	SM-SP18

仕様

トータルキャパシティ	34 T
リア最大ギア	28 T
リア最小ギア	14 T
フロント歯数差	20 T

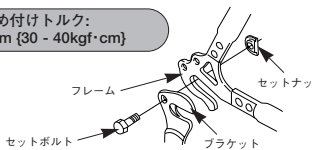
リアディレイラーの取付け

● 直付タイプ



締め付けトルク:
8 - 10 N・m
{80 - 100kgf・cm}

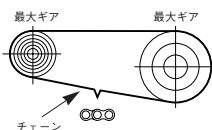
● ブラケットタイプ



締め付けトルク:
3 - 4 N・m {30 - 40kgf・cm}

チェーンの長さ

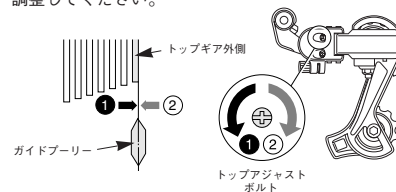
フロント、リア共に最大ギアにチェーンをかけた状態で2リンク加えてください。



ストローク調整とケーブルの固定

1. トップ側の調整

後方から見て、ガイドプーリーがトップギアの外側の線の上にくるようにトップアジャストボルトを回して調整してください。



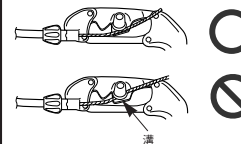
2. インナーケーブルの固定

インナーケーブルをリアディレイラーに固定し、図のように初期の伸びを取った後、再びリアディレイラーに固定しなおします。



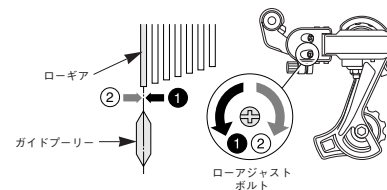
締め付けトルク:
5 - 7 N・m {50 ~ 70kgf・cm}

注意:
インナーケーブルは必ず溝に添わせて固定してください。



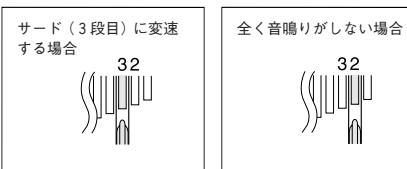
3. ロー側の調整

ガイドプーリーがローギアの真下にくるようにローアジャストボルトを回して調整してください。



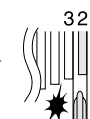
4. SISの調整

シフティングレバーを一回操作して、リアギアを2段目に変速させます。その後、レバーの遊び分だけ操作した状態で、クランクを回転させます。



ベストセッティング

シフティングレバーをレバーの遊び分だけ操作した状態でチェーンがサードギアに接触し、音鳴りする状態がベストセッティングです。



- * レバーをもとの位置に戻し（レバーはセカンドの位置でレバーから指を離した状態）、クランクを回転させてください。サードギアと接触し、音鳴りが残っている場合は調整ボルトを少し締めて（時計方向）、音鳴りのしないぎりぎりのポイントで止めるようにしてください。

レバーを操作して変速し各段で音鳴りがないことを確認してください。

SISの機能を十分に持続させるために伝達各部にオイルメンテナンスを行ってください。

* 取扱説明書は以下にてご覧いただけます。
<http://techdocs.shimano.com>

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 シマノ

堺市堺区老松町3丁目7番地 〒590-8577